

商工観光分野を中心とした「地域ビジョン」  
策定にかかる令和3年度第1回～第3回幹事会のまとめ

【地域経済に関する確認】

望ましい地域経済循環の流れ

- ①地域の個性や強みを活かした生産を行う。
- ②地域外のお金を獲得する。
- ③そのお金が地域内で新たな価値を生み出す。

適切に対応していけるか否かが大きく左右

全世代にわたる人口減少

人口減少は予測可能な将来であり、地域経済に確実に影響する。

農業・漁業・林業などの動向

柑橘栽培をはじめとした第一次産業（農業・漁業・林業）、第二次産業、保健衛生・社会事業（医療・介護など）の動向は、経済に多大な影響を与える。

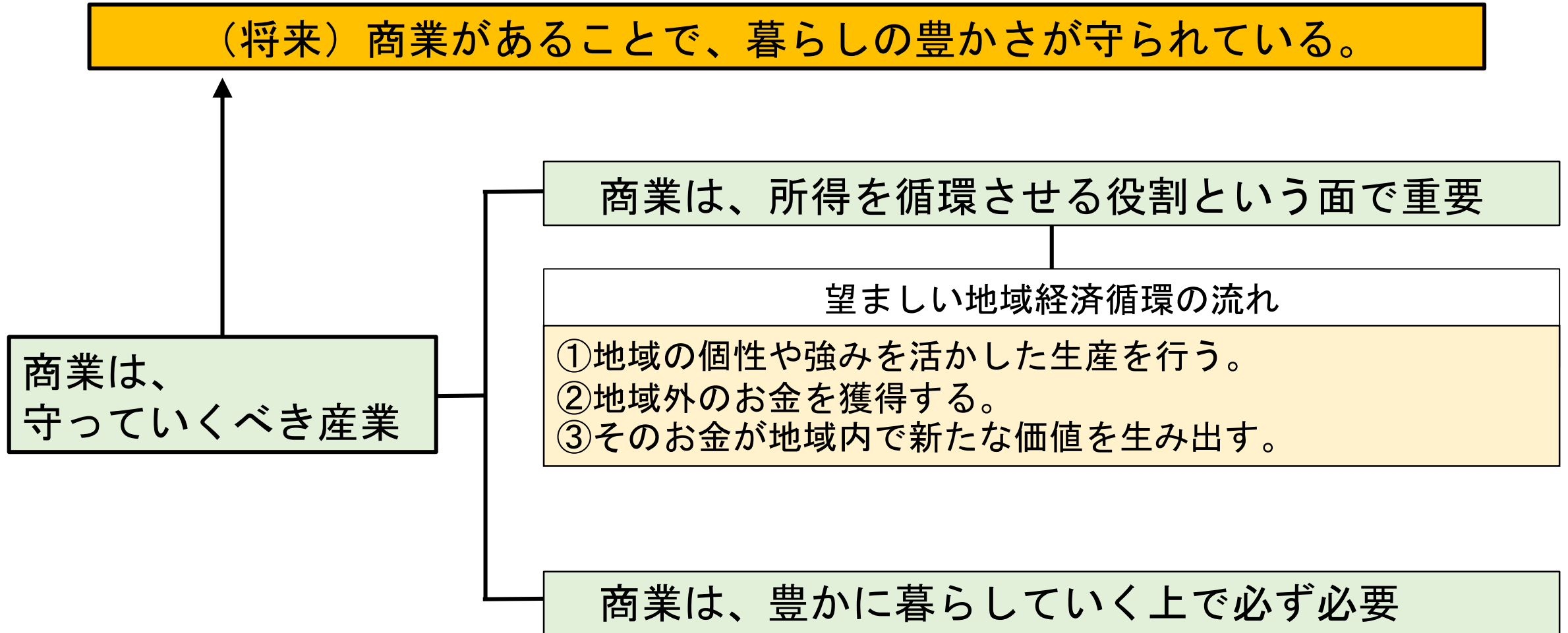
【商業に関する確認】



商業は・・・  
私たちが、豊かに暮らしていく上で必ず必要。

出典：経済産業省HP

【方向性の確認】 ※地域ビジョンの検討段階で変化していくこともあり得る。



(将来) 商業があることで、暮らしの豊かさが守られている。



今まで以上に、

- ①町内はもとより、より広いエリアからの、日常的な消費を取り込む。
- ②旅行者等から、非日常的な消費を取り込む。
- ③身近なお店はもとより、消費を取り込む効果が期待できる商業の集積を守る。

※紀南病院～阿田和駅周辺に第3次産業の集積がみられる。

※「分配(所得)」や「支出」の流入出が活発な近隣市町全体を域内として捉える。

御浜町の住民の生活圏は、熊野市から新宮市までの地域を中心に広がっている。その中で、御浜町の雇用者所得は、流入が流出を上回っていることから、御浜町に住んで近隣市町で仕事をするという家庭が比較的多いことを意味している。このことから、住みやすさという面で選ばれてきたという特徴が見て取れる。町外で商業を営んだり、お仕事をされる方にとっても住みやすい場所として選ばれ続けられるようにしていくという視点も必要。

商業は、これまでも、人口(消費者)の減少に対応し続けている。

家計消費(流入額42億円)

KiiCard会員(町外46%)

小売業(移輸出>移輸入)

これから起こる全世代に渡る人口減少は、さらに大きな影響を及ぼす。